

現在の福井県スポーツ推進計画【総括】

位置づけ スポーツ基本法（H23.6）に基づき、県民がそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむことができる環境を整えるための計画（H25.7）

推進期間

第2次期間：令和元年度～令和6年度（6年間）

令和6年11月27日
交流文化部

考え方

- ・福井国体・障スポのレガシー（県民のスポーツへの関心の高まり・スポーツ施設の充実・競技力の向上等）を活かし、更なるスポーツ振興やスポーツを通じた交流人口の拡大につなげるため、3つの基本施策（①県民1スポーツ、②子どもの体育・スポーツ活動、③トップアスリートの養成）に新たな取組みを追加
- ・施策の目標指標を、現状および国の「第2期スポーツ基本計画（H29）」を踏まえ設定・見直し

目指す姿

1 県民の誰もがスポーツを楽しめる福井

I 1 県民1スポーツ

福井国体・障スポを契機とした地域スポーツの振興

- 1 「する・みる・ささえる」スポーツに親しむ環境づくり
- 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 3 ユニバーサルスポーツの推進
- 4 スポーツボランティアの活性化
- 5 スポーツ交流の推進

具体的施策

達成状況

	目標値 R6	実績値					目標 達成率
		R1	R2	R3	R4	R5	
成人週1回以上 スポーツ実施率（%） <体力・運動能力調査> スポーツ庁	65	54.8	56.0	66.5	54.8	61.0	概ね順調 93.8% 参考値
総合型地域スポーツ クラブ会員数（人）	7,500	6,635	6,009	6,246	6,274	6,777	概ね順調 90.4%

成果

- 県民スポーツ祭・はびりゅうフェスタ等のイベント参加者数増加
R2→R5 県スポ祭：+22,045人／はびフェス：+3,718人
- スポーツ観戦者数の増加
福井プロウィングス 戦 セレン・ドリーマアリーナR6.4.28：過去最高3,965人記録
- ふくい桜マラソン2024や日本スポーツマスターズの目標達成
マラソン：出走者数13,657人、マスターズ：参加者数7,542人

課題

- 働き盛り・子育て世代・女性のスポーツ実施率の低迷
- 障がいを超え一緒に楽しめるスポーツイベントの更なる開催
- 健康増進に向けた運動習慣づくりの定着化
- FUKUI RAYSの認知度・集客力の向上
- 福井県スポーツまちづくり推進機構と関係機関の協働 など

< 県民の声（現場でトーク） >

- ・教育委員会や医療機関との連携による選手の発掘（ハラスポーツ）
- ・親子で体を動かす機会づくりやその情報の周知（子育て世代）
- ・保育士等向けの幼児運動を学ぶ機会の充実（幼児教育）
- ・地域コミュニティを活用した健康・機会づくり（高齢者） など

総括

- 県民全体のスポーツ実施率は増加しているものの、働き盛り・子育て世代・女性の実施率は低迷しており、次期計画では重点強化
- スポーツを通じた共生社会の更なる実現を目指した施策の取組みを重点強化
- 「スポーツによるエンタメ福井の実現」に向けて、次期計画ではスポーツによる地域活性化を重点強化

2 運動好きな子どもたちが元気に輝ける福井

II 子どもの体育・スポーツ活動

学校等での活動を通じた運動やスポーツの多様な楽しみ方の推進

- 1 学校体育の充実
- 2 地域の協力を得た運動部活動の推進

	目標値 R6	目標値 R6	実績値					目標 達成率
			R1	R2	R3	R4	R5	
運動やスポーツを することが好きな 子ども（%）	93	89	91.7	(中止)	86.7	90.4	91.1	概ね順調 98.0%
			87.8		84.5	85.4	84.9	概ね順調 95.4%
※1日の運動実施 時間が1時間以上の 子ども（%）	78	82	(45.2)	(中止)	(42.0)	(43.5)	(43.4)	-
			(75.5)		(74.5)	(73.9)	(71.6)	-

※全国体力・運動能力調査（スポーツ庁）において、H25より質問回答様式が変更されたため、（ ）内の数値は参考値

○全国体力・運動能力調査において、過去5年間3位以内をキープ(小学5年生女子は14年連続1位)

	<H30>	<R1>	<R2>	<R3>	<R4>	<R5>
小学5年男	2位	1位	(中止)	2位	1位	1位
小学5年女	1位	1位	(中止)	1位	1位	1位
中学2年男	1位	2位	(中止)	3位	1位	2位
中学2年女	1位	1位	(中止)	1位	2位	2位

- 児童生徒の1週間の総運動時間が減少傾向
- 部活動の地域移行に向けた地域スポーツクラブ活動の運営団体等の整備
- 部活動の地域移行に関連した、資質能力を備えた指導者の育成と確保 など

< 県民の声（現場でトーク） >

- ・児童生徒が自ら運動に親しむ機会の創出（教員）
- ・市町における部活動地域移行の進捗状況の差異（市町）
- ・受益者負担増に対するの財政支援（総合型地域スポーツクラブ） など

- 児童が主体的に運動に親しむ環境づくりを継続的に実施
- 学校と地域スポーツクラブ等との連携強化による部活動地域移行の推進など、持続可能な形での生徒のスポーツ活動の充実
- 次期計画では、学校体育と地域スポーツとの連携を深めるためにも「子どものスポーツ活動の充実」をライフステージの1つとして位置づけ

3 国内外で活躍できるトップアスリートが育つ福井

III トップアスリートの養成

福井国体のレガシーを活かした競技力の維持・向上

- 1 選手を育成強化する体制づくり
- 2 指導者の育成と確保
- 3 競技力向上のための環境づくり

	目標値 R6	実績値					目標 達成率
		R1	R2	R3	R4	R5	
競技スポーツ全国大会 上位入賞数1～3位（件）	100件/年 を維持	196	130	188	200	249	達成 249.0%
公認スポーツ指導者 新規登録者数（名）	100	45	94	90	154	176	達成 176.0%

- 国スポ天皇杯：福井国体後も10位台をキープ
H30：1位 R1：10位 R4：18位 R5：14位

- 公認スポーツ指導者新規登録者数の増加
R2：45名→R5：176名（R2→R5 131名増）

- 少子化時代に対応した、ジュニア世代での選手発掘・育成・強化サイクルの更なる充実
- アスリートのUIターンを促進し、競技力向上を図るため、「スポジョブふくい」の活動を継続
- 若手・女性指導者の育成・確保およびアスリートが競技に専念できる練習環境の整備 など

< 県民の声（現場でトーク） >

- ・競技人口・指導者の減少が課題（市町スポーツクラブ）
- ・全世代へのスポーツの魅力発信が重要（市町スポーツクラブ）
- ・継続的に競技活動に取り組める環境の確保（競技団体） など

- 人口100万人未満の県において地元国体後も天皇杯10位台をキープしている県は福井県のみ
- 次期計画では引き続き、競技力向上を大きな柱の1つに位置づけ
- 中長期的な視点で、選手確保・育成・強化サイクルへの支援を継続・発展

次期福井県スポーツ推進計画 骨子案【概要】

基本理念

スポーツでひろがる“しあわせ実感ふくい”

スポーツには体力の向上や健康の保持増進をはじめ、青少年の健全育成、共生社会の実現、地域の活性化など様々な力（価値）を有している。このスポーツの力を最大限活用し、スポーツを通じて県民誰もが夢や感動を共有し人生を豊かにし、しあわせを実感できる社会を目指す。

位置づけ

- ・スポーツ基本法第10条第1項による「地方スポーツ推進計画」
- ・福井県長期ビジョンの分野別計画

計画期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

策定の趣旨

- ・平成25年に策定した「福井県スポーツ推進計画」の第2次推進期間が令和6年度で終期を迎えるため、これまでの理念を継承しつつ、本県の取り巻く現状および国の「第3期スポーツ基本計画」を踏まえて策定する。
- ・本県の今後のスポーツ振興の方向性および具体的施策等を取りまとめ、県内関係機関や市町などと連携・協働しながら総合的・計画的に推進することにより、スポーツの力を通じて、県民一人ひとりの生活や心がより豊かになる「ウェルビーイング」の実現を目指す。

策定の背景

- ・福井県の総人口の減少や少子高齢化の進展に伴うスポーツ人口減少への懸念
- ・北陸新幹線が開業し本県の交流人口を拡大させ知名度を高める千載一遇のチャンス到来
- ・デジタル化の急速な進展に伴うデジタルトランスフォーメーションの進展
- ・スポーツの力（価値）を活かしたSDGSの達成や共生社会の実現 など



目指す姿

幼児から高齢者まで県民の誰もが生涯を通じてスポーツを楽しむ「1県民1スポーツ」が根付いた福井



全国や世界で活躍するアスリートが福井から育ち、県民に夢や感動を与え続けるアスリートが輝く福井



北陸新幹線開業を契機にスポーツを通じて交流人口が拡大し、地域が活性化し元気あふれる福井



県民の誰もがスポーツに参加できる場や環境が充実し整備されている福井



基本方針

1 生涯スポーツの推進

ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進

2 競技力の向上

国民スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の発掘・育成

3 スポーツによる地域活性化

福井ならではの地域特性を活かした交流の推進

4 スポーツ環境の整備・充実

誰もがスポーツに参画できる「場づくり」の整備・充実

課題

- ・働き盛り・子育て世代・女性のスポーツ参加推進
- ・パラスポーツの普及やパラアスリート発掘育成
- ・子どもの運動実施時間の維持・向上
- ・市町行政や競技団体、地域のスポーツクラブ等と連携した中学校部活動地域移行
- ・スポーツを通じた健康・生きがいづくり推進など

- ・ジュニアから成年までの各世代での選手発掘・育成、継続的な強化サイクルの構築
- ・アスリートが就職後も競技活動を継続できる企業へのUIターン就職支援の推進および競技活動への支援
- ・公認スポーツ指導者の育成・確保 など

- ・スポーツによる交流人口の拡大
- ・福井県スポーツまちづくり推進機構と県内関係機関の協働によるスポーツコミッションの活動促進
- ・スポーツで「稼ぐ」ツーリズム要素の強化
- ・FUKUIRAYSの認知度・集客力の向上
- ・「観る」スポーツの更なる機会創出 など

- ・地域クラブの持続可能な組織体制の確立
- ・若手指導者の確保および質の向上
- ・スポーツ活動を支えるボランティア人材の養成
- ・eスポーツの普及拡大などICTの有効活用
- ・スポーツ情報の一元化
- ・県有スポーツ施設の老朽化対策、長寿命化 など

基本施策

- ① 県民総スポーツの機会づくり
- ② スポーツを通じた共生社会の実現
- ③ スポーツによる健康づくりの推進
- ④ 子どものスポーツ活動の充実
- ⑤ 女性や「働き盛り・子育て世代」のスポーツ機会の創出
- ⑥ 高齢者のスポーツ活動の充実
- ⑦ パラスポーツの普及拡大

- ① ジュニア世代の発掘・育成・強化
- ② トップアスリートのUIターン推進・競技活動の支援
- ③ 安全・安心で充実した指導体制の構築
- ④ クリーンでフェアなスポーツの推進
- ⑤ スポーツ医・科学の積極的活用
- ⑥ トップパラアスリートの育成・支援

- ① 地域スポーツコミッションを軸とした福井ならではのスポーツツーリズムの推進
- ② 全国規模の大会・イベント、スポーツ合宿誘致活動の強化
- ③ イベント企画・広報などの伴走支援
- ④ 全国に誇れる「ふくい桜マラソン」ブランドの確立
- ⑤ FUKUIRAYSの活躍応援
- ⑥ トップアスリートを活用した交流推進

- ① スポーツを支える組織や体制の充実
- ② スポーツ指導者の育成と質の向上
- ③ スポーツボランティア活動の推進
- ④ デジタル技術を活かしたスポーツDXの推進・情報発信の強化
- ⑤ eスポーツの普及拡大
- ⑥ スポーツ施設の長寿命化と利活用